

「省エネ市民会議」第5回例会					
会議年月日	21年6月12日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	新田、シャリアン原田、大前、山田、新美、下田、平手、春田(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
1、CO2排出係数について					
CO2排出係数がエコチェックノートに記載されている値と東電領収書(裏面)に掲載されている値が違う。					
・電気 =0.38(流山市エコチェックノート) 0.43(東電)					
・都市ガス=1.96(同上) 2.28(同上)					
* 排出係数は1年に1回見直されるので何年度の係数を使うかによって変わってくる。					
但しガソリンのCO2排出係数(2.32)は変わらない。					
<p><ガソリン1Lを使用すると、二酸化炭素はどのくらい発生するか計算する>ガソリンの比重を0.75とすると、1Lで750gです。ガソリンは炭化水素でC(炭素)1個に対し、H(水素)2個の割合でできています。原子量はそれぞれ12と1ですから、ガソリンの重さのうち12/14が炭素ということになります。この炭素が燃えてCO2(二酸化炭素)になり、その分子量は44ですから、12gのCが44gのCO2に変わります。すなわち1L(750g)のガソリンの内、12/14が炭素で、それが44/12倍のCO2となります。</p> <p>ガソリン1Lを使用すると、$750g \times 12/14 \times 44/12 = 2360g$ の二酸化炭素が発生することになります。同じ計算を、温対法の係数を用いて計算して見ます。</p> <p>ガソリン1LあたりのCO2排出量(g-CO2) $= 1L \times 34.6GJ/kL \times 0.0183t-C/GJ \times 44/12 \times 106g-CO2/t \div 1000L/kL = 2320g-CO2$</p> <p>このように上記のような計算でも同程度の値が得られます。</p> <p>なお、1kWhの電気を使用する場合に、発電所で555gのCO2が発生するとすると、ガソリン1L使用することは、約4.2kWhの電気を使用したことに対応するCO2を発生します。 出展:省エネセンターQ&A</p>					
2、Hさんの省エネ実践					
両隣のある集合住宅なた機密性が高く窓が南と北だけである。床暖房(ガス)があるが殆ど使わない。					
電気の使用量は年間を通して一定しているのは電気を使わないから。TVは殆ど見ない。					
風呂の残り湯を使っているので水道は少ない。					
ガスは台所調理で人並みに使っている。					
PCの導入で数値が上がっているか?					
夜遅くまで起きていると電気使用量が増える。					
* 次回の予定					
7月17日(金)「夏の省エネ対策とその効果の実証」					
以上					